

平成 20 年 5 月 23 日

各 位

会社名 コスモ証券株式会社
代表者名 代表取締役社長 青園 雅紘
(コード番号 8611 東証・大証・名証 第一部)

株式会社CSKホールディングスによるコスモ証券株式会社の 株式交換による完全子会社化に関するお知らせ

株式会社CSKホールディングス（以下、「CSKホールディングス」）とコスモ証券株式会社は、本日開催の各々の取締役会において、平成 20 年 8 月 1 日を期して、下記のとおり株式交換によりCSKホールディングスが当社を完全子会社（100%子会社化）とすることを決定し、株式交換契約を締結することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、本株式交換の効力発生日に先立ち、当社の株式は平成 20 年 7 月 25 日を最終売買日として、株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」）、株式会社大阪証券取引所（以下、「大阪証券取引所」）及び株式会社名古屋証券取引所（以下、「名古屋証券取引所」）において上場廃止となる予定です。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

CSKグループは、産業全体、社会全体の持続的発展を支え、社会に貢献する企業グループとして、社会に必要とされる新たなサービスを創造するサービスプロバイダー企業グループへ事業転換することを目指しております。これまでCSKグループは、創業以来の事業の系譜である「情報サービス」、ここ数年で安定的な収益を生み出すに至った不動産流動化事業の「金融サービス」を収益の二本柱としておりました。さらに現在、グループにおける証券系ビジネスを推進する体制が整いつつあることから、この「証券系ビジネス」を本格的な事業の柱とすべく取り組み始めております。このたび、その中核となる当社を完全子会社化し、グループ一体となって「証券系ビジネス」を推進してまいります。

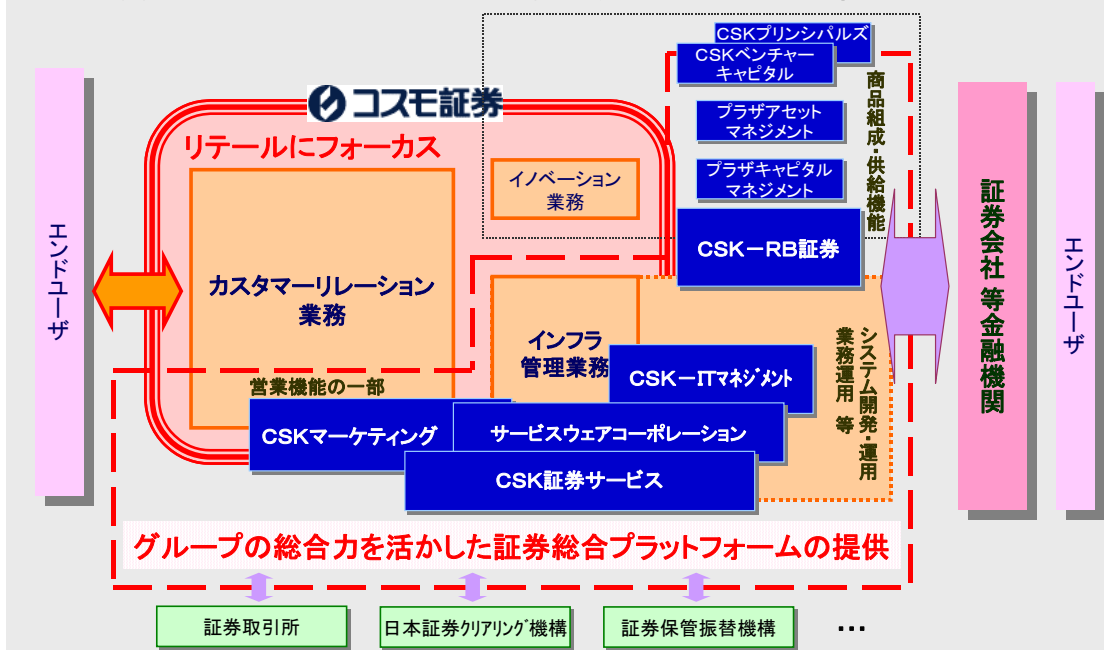
CSKグループは、証券系ビジネスにおいて、当社による証券事業そのもののほかにも、その他のグループ会社により、証券会社設立・運営コンサルティング、証券システム開発・運用、証券システムASP、証券事務BPO、コンプライアンスサポート、テレマーケティング、金融情報配信サービス、投資信託委託業、投資顧問業、商品企画・開発、ベンチャーキャピタル、パイアウトファンド、証券仲介業等さまざまなサービスに取り組んでおります。

当社は、多くのお客様、多くの預かり資産、優秀な人材等、良質な資産を豊富に保有し、特に関西地域においては確固たる地盤を築いております。一方、サブプライムローンから波及する世界的な金融信用不安の影響が大きく、また法人ビジネス強化や人材確保等の事業投資を積極的に進めた結果、急速にコスト負担が増加しており、現在及び将来の市場環境を踏まえると、収益面は非常に厳しい状態にあります。この状況を改善し、安定的かつ高い収益性を確保するためには、今後さまざまな経営施策を講ずる必要があると考えております。

この度の当社の完全子会社化は、現在の経営環境を改善していくために、昨年度より進めているチャンネル戦略をさらに具体化して、リテール事業の強化を図るにあたり、経営資源の集中化や人材の重点配置等、新たな施策を効率的かつ機動的に実現することを目的としております。グループ内において、当社はこれまでマーケットへのアクセス、事業ノウハウの供給の役割を担って参りましたが、今後は人的側面・経営資源ともに積極的に相互交流していくことで、グループ全体の証券系ビジネスにおける事業戦略をともに推進し、その結果として当社を含めたCSKグループの企業価値を向上させていくことを目指してまいります。

■証券系ビジネスにおける展望

コスモ証券が持つ機能・業務ノウハウに、CSKグループがこれまで培ってきたノウハウ・資産を融合させ、証券会社等金融機関に証券総合プラットフォームを提供。合わせて、リテール向けサービスを強化。



CSKグループと当社は、社会に必要とされる新たなサービスの一環として、当社が有する機能・リソース・業務ノウハウに、CSKグループがこれまで培ってきた情報サービス及び証券系ビジネス関連のノウハウ・リソースを融合させることで、証券会社はもちろん、他業種の企業が証券分野に進出される場合等にCSKグループにお任せいただけるような証券総合プラットフォームを提供していくとともに、リテール向けのサービスを提供することに取り組んでまいります。

【上場廃止となる見込み及びその事由】

本株式交換の結果、効力発生日である平成20年8月1日をもってCSKホールディングスは当社の完全親会社となり、完全子会社となる当社の普通株式は、大阪証券取引所においては平成20年7月26日、東京証券取引所及び名古屋証券取引所においては平成20年7月28日に上場廃止となる予定です。上場廃止後は東京証券取引所、大阪証券取引所及び名古屋証券取引所において当社株式を取引することはできません。

【上場廃止を目的とする理由及び代替措置の検討状況】

本株式交換は、上記のとおり、当社がこれまで以上に効率的かつ機動的な経営施策を推進することを可能とし、当社及びCSKホールディングス双方の企業価値向上を図ることを目的とするものです。当社普通株式の上場廃止自体を直接の目的とするものではございませんが、本株式交換が行われた場合には、当社普通株式は上場廃止となる予定です。

しかしながら、本株式交換の対価であるCSKホールディングスの普通株式は東京証券取引所に上場されておりますので、本株式交換後においても、取引所市場において取引機会が確保されております。本株式交換は両社の企業価値向上を図るものであるため、今後CSKホールディングスの普通株式を保有することとなる当社の株主の皆様を含め、ご期待にお応えできるものであると考えております。但し、当社株式を2,174株未満保有する株主については、CSKホールディングス株式に交換された後、保有するCSKホールディングス株式が単元未満となるため、東京証券取引所での売却はできません。単元未満株式の買増制度（100株への買増し）、もしくは単元未満株式の買取制度（100株未満株式の売却）をご利用いただくことができますが、詳細は「2. 株式交換の要旨（2）株式交換に係る割当ての内容 注3. 単元未満株式の取扱い」をご参照下さい。

なお、株式交換のほかに、公開買付及び市場での買付による完全子会社化を検討いたしましたが、迅速かつ完全に実施するために、株式交換の方法を採用することといたしました。

また、CSKホールディングスは大阪証券取引所及び名古屋証券取引所への再上場申請の予定はございません。

【公正性を担保するための措置】

株式交換比率の公正性・妥当性を担保するための措置として、CSKホールディングスは第三者算定機関であるZECOOPARTNERS株式会社（以下、「ZECOOPARTNERS」）に株式交換比率の算定を依頼しました。

当社は同じく第三者算定機関であるダフ・アンド・フェルプス株式会社（以下、「ダフ・アンド・フェルプス」）に、それぞれ株式交換比率の算定を依頼しました。

当該算定機関からそれぞれが取得した算定書の算定結果を踏まえ、両社間で慎重な交渉・協議を行い、合意された株式交換比率により本株式交換を行うこととしました。

【利益相反を回避するための措置】

CSKホールディングスの取締役のうち1名は当社の代表取締役を兼務しているため、利益相反を回避する観点からCSKホールディングスの取締役会における本株式交換の審議及び決議には参加しておりません。

2. 株式交換の要旨

（1）株式交換の日程

株主総会基準日（コスモ証券）	平成20年3月31日
株式交換決議取締役会（両社）	平成20年5月23日
株式交換契約締結（両社）	平成20年5月23日
株式交換承認株主総会（コスモ証券）	平成20年6月25日（予定）
取引所市場最終売買日（コスモ証券）	平成20年7月25日（予定）
上場廃止日（コスモ証券：大阪証券取引所）	平成20年7月26日（予定）
上場廃止日（コスモ証券：東京証券取引所、名古屋証券取引所）	平成20年7月28日（予定）
株式交換の予定日（効力発生日）	平成20年8月1日（予定）
株券交付日	平成20年9月中旬（予定）

※本株式交換を行うにあたり、CSKホールディングスは会社法第796条第3項（簡易株式交換）の規定により、株主総会の承認を経ずに行う予定です。

※上記日程は、株式交換手続進行上の必要性及び、その他の事由により、両社間で協議

の上、変更することがあります。

(2) 株式交換に係る割当ての内容

会社名	C S Kホールディングス (完全親会社)	コスモ証券 (完全子会社)
株式交換に係る 割当ての内容	1	0.046
株式交換により 交付する新株式数	未定	

(注) 1. 株式の割当比率

当社の普通株式1株に対し、C S Kホールディングスの普通株式0.046株を割当て交付します。

C S Kホールディングスは現在、当社普通株式を210,900,000株保有しておりますが、C S Kホールディングスが株式交換の日に保有する当社普通株式については、本株式交換による株式の割当ては行いません。なお、平成20年5月26日から平成20年7月25日までのあいだに、関係法令諸規則の遵守を前提に、C S Kホールディングスは当社株式を4,236,000株(当社発行済株式数の約1%相当)を上限として取得する予定です。C S Kホールディングスが市場にて株式を取得することにより、株式交換の効力発生日前に、当社株式の市場における流動性を高める結果となります。

2. 本株式交換により交付する株式の数等

C S Kホールディングスは、本株式交換に際して、当社の株主(実質株主を含み、C S Kホールディングスを除く、以下同様)に対して、その所有する当社普通株式に代わり、効力発生日(平成20年8月1日)の前日の最終の当社の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された当社の株主が所有する当社普通株式の合計に、0.046を乗じた数のC S Kホールディングスの普通株式を割当て交付します。

なお、C S Kホールディングスは、現在、自己株式8,121,892株を保有しております。本株式交換に際して交付する株式のうち、本株式交換の効力発生日時点において保有する自己株式数に相当する数の株式については、その保有する自己株式を割当て交付し、当該割当て交付に不足する株式については、新株式を発行した上で割当て交付する予定です。**交付する新株式数については、確定次第お知らせいたします。**

3. 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、C S Kホールディングスの単元未満株式(100株未満の株式)を所有することとなる株主においては、取引所市場において単元未満株式を売却することはできません。C S Kホールディングスの単元未満株式を所有することとなる株主においては、単元未満株式の買増制度(100株への買増し)、もしくは単元未満株式の買取制度(100株未満株式の売却)をご利用いただくことができます。

現物株券で保有されている当社株式については、株式交換に係る割当ての結果、C S Kホールディングスの100株未満となった場合、その株式は登録株となります(C S Kホールディングスの単元未満にかかる株券は発行されず、C S Kホールディングスの株主名簿管理人(住友信託銀行:証券代行部)から株主名簿登録通知をお送りいたします)。当該株主は8月1日から買取制度または買増制度を

ご利用いただくことができます。証券保管振替制度をご利用の当社株主は8月1日から同じく買増制度または買取制度をご利用いただくことができます。買取制度、買増制度のお取り扱い方法等の詳細につきましては、6月26日の送付を予定しております株券提出のご案内にてお知らせする予定です。または、CSKホールディングスの株主名簿管理人（住友信託銀行：証券代行部 TEL 0120-176-417）もしくはお取引証券会社（証券保管振替制度をご利用の場合）へお問い合わせ下さい。

4. 1株に満たない端数の処理

本株式交換に伴い、当社の株主に割当交付しなければならないCSKホールディングスの普通株式1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条の規定に従い、当該株主に対して1株に満たない端数部分に応じた金銭の交付を9月中旬に行う予定です。

(3) 株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

① 算定の基礎及び経緯

ZECOOPARTNERSは、CSKホールディングス普通株式、当社普通株式それぞれについて、東京証券取引所市場第一部に上場しており、市場株価が存在することから市場株価法を採用して算定を行いました。また、市場株価法に加え多角的に分析することが適切と考え、類似上場会社法及び将来の事業活動からの収益を反映させるためディスカунテッド・キャッシュフロー法（以下、「DCF法」）の各評価手法を採用して算定を行い、株式交換比率に関する分析をCSKホールディングスに提出しました。各評価方法による当社の普通株式1株に対するCSKホールディングスの普通株式の割当株数の算定結果は、下表のとおりとなります。

採用手法	株式交換比率の評価レンジ
市場株価法	0.038 ～ 0.042
類似上場会社法	0.043 ～ 0.044
DCF法	0.034 ～ 0.043

市場株価法においては、CSKホールディングスの重要事実（平成20年4月21日付「平成20年3月期 連結業績予想の修正および特別損失の発生、ならびに当社（個別）における特別損失の発生に関するお知らせ」）及び当社の重要事実（平成20年4月21日付「平成20年3月期 通期業績速報に関するお知らせ」、「平成20年3月期 期末配当予定に関するお知らせ」）の公表後の株価動向等を見定めるため、平成20年5月21日を基準日といたしました。その上で、基準日までの1か月（平成20年4月22日～平成20年5月21日）、3か月（平成20年2月22日～平成20年5月21日）、6か月（平成19年11月22日～平成20年5月21日）の各期間における終値平均を用いて算定いたしました。

DCF法における分析において前提とした将来の利益計画については、CSKホールディングスは、大幅な増減益は見込んでおりません。また、当社については、過去5年間の平均利益実績程度まで回復することを見込んだ利益計画としております。

なお、ZECOOPARTNERSは、CSKホールディングスの取締役会が株式交換比率を決定する際の参考情報として、第三者算定機関としての株式交換比率の算定を、CSKホールディングスの取締役会に対して提出することを目的として算定結果を作成しており、算定結果は、ZECOOPARTNERSが上記2.（2）の株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

ダフ・アンド・フェルプスは、CSKホールディングス普通株式、当社普通株式それぞれについて、東京証券取引所市場第一部に上場しており、市場株価が存在することから市場株価法を採用して算定を行いました。また、市場株価法に加え多角的に分析することが適切と考え、将来の事業活動からの収益を反映させるためDCF法を採用して算定を行い、株式交換比率に関する分析を当社に提出しました。各評価方法による当社の普通株式1株に対するCSKホールディングスの普通株式の割当株数の算定結果は、下表のとおりとなります。

採用手法	株式交換比率の評価レンジ
市場株価法	0.038 ～ 0.042
DCF法	0.031 ～ 0.049

市場株価法では、平成20年5月21日を基準日とし、CSKホールディングスの重要事実(平成20年4月21日付「平成20年3月期 連結業績予想の修正および特別損失の発生、ならびに当社(個別)における特別損失の発生に関するお知らせ」)及び当社の重要事実(平成20年4月21日付「平成20年3月期 通期業績速報に関するお知らせ」、「平成20年3月期 期末配当予定に関するお知らせ」、「機構の改革ならびに人事異動のお知らせ」)の公表日翌日以降基準日までの1ヶ月(平成20年4月22日～平成20年5月21日)、直近3ヶ月(平成20年2月22日～平成20年5月21日)及び直近6ヶ月(平成19年11月22日～平成20年5月21日)の終値平均ならびに基準日の終値に基づいて算定いたしました。

DCF法における分析において前提とした将来の利益計画については、CSKホールディングスは、大幅な増減益は見込んでおりません。また、当社については、過去5年間の平均利益実績程度まで回復することを見込んだ利益計画としております。

なお、ダフ・アンド・フェルプスは、当社の取締役会が株式交換比率を決定する際の参考情報として、第三者算定機関としての株式交換比率の算定を、当社の取締役会に対して提出することを目的として算定結果を作成しており、算定結果は、ダフ・アンド・フェルプスが上記2.(2)の株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

両社は、それぞれ上記の第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率の算定結果を参考に、両社の重要事実の公表日に鑑みて、市場株価法のうち、基準日までの1ヶ月の終値平均を基礎とした上で、直近の両社の株価動向や今後のシナジーを総合的に勘案して、慎重に検討し、交渉・協議を重ねました。その結果、平成20年5月23日に開催されたそれぞれの取締役会において、本株式交換における株式交換比率が妥当なものであり、かつ双方の株主の利益を損なうものではないとの判断により、合意・決定し、同日両社間で株式交換契約を締結いたしました。

なお、この株式交換比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更することがあります。

② 算定機関との関係

ZECOOPパートナーズはCSKホールディングスの関連当事者には該当しません。また同じく、ダフ・アンド・フェルプスは当社の関連当事者には該当しません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は新株予約権を発行しておりますが、当該新株予約権の行使期間終了日(平成20年

6月30日)が本株式交換の効力発生日前であるため、CSKホールディングスは本新株予約権を承継いたしません。

なお、当社は新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 株式交換の当事会社の概要 (平成20年3月31日現在)

(1) 商号	株式会社CSKホールディングス (完全親会社)	コスモ証券株式会社 (完全子会社)
(2) 事業内容	CSKグループ及びグループ会社の 経営管理、ならびにそれに付帯する業 務	第1種金融商品取引業 第2種金融商品取引業 投資運用業 投資助言・代理業
(3) 設立年月日	昭和43年10月	大正6年12月
(4) 本店所在地	東京都港区南青山二丁目26番1号	大阪府中央区今橋一丁目8番12号
(5) 代表者の役職・ 氏名	代表取締役社長 福山 義人	代表取締役社長 青園 雅紘 (平成20年4月1日現在)
(6) 資本金(連結)	73,225百万円	32,366百万円
(7) 発行済株式数	78,670,524株	423,601,993株
(8) 純資産(連結)	185,495百万円	33,040百万円
(9) 総資産(連結)	550,054百万円	137,040百万円
(10) 決算期	3月31日	3月31日
(11) 従業員数	152名	1,079名
(12) 主要取引先	ニッセイ情報テクノロジー、損保ジャ パンシステムソリューション他 (連結)	個人投資家等
(13) 大株主及び 持株比率	(株)CSKホールディングス 10.32% 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 8.34% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託 口) 6.40% ドイツ証券(株) 4.87% (株)オー・イー 4.52%	(株)CSKホールディングス 49.79% (株)りそな銀行 4.91% モルガンスタンレー アンド カンパニー インターナショナル ピールズ 2.22% 日本生命保険(相) 1.09% みずほ信託退職給付信託クボタ口再信 託 受託者資産管理サービス信託0.73%
(14) 主要取引銀行	住友信託銀行 他	りそな銀行 他
(15) 当事会社間の関 係等	①資本関係	CSKホールディングスは、当社の発行済株式総数の 49.79%を保有しております。
	②人的関係	CSKホールディングスの取締役1名が当社の代表取締 役を兼務しております。また、CSKホールディングスの 従業員2名が当社の監査役を兼務しております。
	③取引関係	CSKホールディングスと当社との間に、重要な取引はご ざいませぬ。
	④関連当事者へ の該当状況	当社は、CSKホールディングスの連結子会社であるた め、関連当事者に該当します。

(16) 最近3年間の業績（連結）（単位：百万円）

決算期	C S Kホールディングス（連結）			コスモ証券（連結）		
	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期
売上高／営業収益	241,154	245,981	239,695	26,650	24,705	22,182
営業利益	25,137	29,904	19,256	5,723	1,750	△3,467
経常利益	26,981	30,810	20,634	5,876	1,843	△3,295
当期純利益	30,874	8,679	1,272	5,052	1,535	△4,869
1株当り当期純利益 （円）	410.52	117.35	17.34	11.67	3.63	△11.51
1株当り配当金（円）	40.00	40.00	40.00	3.00	3.00	-
1株当り純資産（円）	2,437.08	2,479.33	2,317.18	92.72	93.39	77.40

4. 株式交換後の完全親会社の状況

(1) 商号	株式会社C S Kホールディングス
(2) 事業内容	C S Kグループ及びグループ会社の経営管理、ならびにそれに付帯する業務
(3) 本店所在地	東京都港区南青山二丁目26番1号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 福山 義人
(5) 資本金（連結）	現時点では確定していません。
(6) 純資産（連結）	現時点では確定していません。
(7) 総資産（連結）	現時点では確定していません。
(8) 決算期	3月31日

(9) 会計処理の概要

本株式交換については、企業結合会計基準における共通支配下の取引等の会計処理のうち、少数株主との取引に該当する見込みです。なお、C S Kホールディングスにおいて、株式交換に用いる自己株式の取得価額と、株式交換を行う価額との差額が、資本剰余金における自己株処分差損となり、約114億円の見込みです。また当社の純資産に対する少数株主持分との差異として発生するのれんの金額は、直近の決算（平成20年3月期）現時点で計算すると、約73億円の見込みとなり、その発生したのれんの償却については、5年間の定額法により償却を行う予定です。なお、株式交換日前日までの当社における当期の純資産の増減分については、現段階では見積もることが困難であるため、上記のれんの価額には含めておりません。

(10) 今後の見通し

株式交換によるC S Kホールディングスの連結業績への影響については、当社は既にC S Kホールディングスの連結対象であることから、売上についての影響はなく、営業利益及び経常利益については、上記のれんの発生が影響いたします。また、当期純利益については、少数株主損益（平成20年3月期実績24億円）が無くなる影響等がございます。

C S Kグループは、当社が有する機能・業務ノウハウに、C S Kグループがこれまで培ってきたノウハウ・資産を融合させ、証券会社等金融機関に証券総合プラットフォームを提供するとともに、合わせて、リテール向けサービスを強化することにより業績の拡大を目指してまいります。

以上

